

科目名 【英】	保健体育 Health and Physical Education			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単位	3
学年	3年生	学期	1.2学期	曜日	木曜	時限	3限

担当教員	浅田 雅之	実務者経験	1988年日本体育大学卒業保健体育科の教員資格取得 1992年アサダ接骨院・鍼灸院開業、2008年デイサービス開業
------	-------	-------	--

学習内容	鍼灸師としてスポーツの現場でも活躍できるような知識、技術を学ぶ。
到達目標	アスレチックトレーナーとしての心得を理解し、スポーツ現場で慌てず的確な応急処置(RICEやテーピング)が行え、世界で戦うトップアスリートからスポーツ愛好家までトレーニング指導やストレッチング、スポーツマッサージなどのコンディショニングからアフターケアまでトータルにボディケアの基礎を習得していく。

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布資料
留意点 備考	毎週リポートの提出、採点し平常点とする。試験がいくらできても授業態度の悪い学生は再試験。 再試験評価：再試験 50%平常点 40%出席点 10%

成績評価	本試験 70% 平常点 30%
------	-----------------

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	オリエンテーション	■ 今年どのような授業をしていくのか？ ■ 自己紹介（自己アピール） ■ アスレチックトレーナーの現状、活動報告
2	コーディネーショントレーニング	■ 神経系の発達を促すトレーニングの基礎から実践
3	コーディネーショントレーニング	■ 運動神経はどのようにすればよくなるのか？
4	アイシング	■ アイシングとは？ ■ アイシングのやり方？
5	アイシング	■ いつまで冷やすのか？ ■ いつから温めるのか？
6	SAQ トレーニング	■ SAQ とは？ ラダー、ミニハードル、リアクションボールなどを用いて理論と実技
7	SAQ トレーニング	■ バランスボード、バランスパットボランスポールなどを用いて理論と実技
8	ホスピタリティ 接客サービス	■ アスレチックトレーナー（鍼灸師）の心得、マナー ■ CS（カスタマーサティスファクション）
9	臨床スポーツ医学	■ 代表的なスポーツ障害・外傷について
10	臨床スポーツ医学	■ 応急処置について【ラップ療法】
11	試験	試験
12		

2 学期 授業計画【内容・目標】

1	テーピング	■ テーピングの理論
2	テーピング	■ ホワイトテーピングの切り方、貼り方、はがし方
3	テーピング	■ 足関節のホワイトテーピングの1例実技
4	テーピング	■ ホワイトテーピングの足関節、指関節のテーピング実技
5	テーピング	■ キネシオテーピングの足関節、指関節のテーピング実技
6	ストレッチング	■ 腰痛のストレッチング、肩こりのストレッチング (スタティック、パリスティック、ストレッチボール)
7	スポーツマッサージ	■ スポーツマッサージからリンパマッサージの理論と実技
8	スポーツ栄養学	■ 試合前には、どんなものを摂取すればよいのか？ カーボローディングなどの食事の方法
9	トレーニング実技	■ フットサルコートを利用してサッカーの練習とゲーム
10	試験	試験
11	試験	試験
12	スポーツ鍼灸実技	■ スポーツ鍼実技 (パルス通電で鍼の角度や深さ体感する)

科目名 【英】	経営マネジメント Office Management			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単位	1
学年	3年生	学期	2学期	曜日	金曜	時限	1限

担当教員	柳野 隆生	実務者経験	～1970年 弁理士試験合格・関西大学法学部卒 1970年～1975年 大手化学会社・知財法務事務所勤務 1975年～国際知財法務事務所を開設し、知財法務・研究開発・ベンチャービジネス育成とトップ育成を融合した業務を行い、実務経験を得る
------	-------	-------	--

学習内容	開業に向け、必要な知識を学ぶ。
到達目標	将来に向けて、自己のビジネスプランを作成する。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】なし 【配布資料】あり
留意点 備考	成績評価はビジネスプランの100点評価でおこなう。

成績評価	本試験 100%
------	----------

2学期 授業計画【内容・目標】		
1	これからやらなければならないこととビジネスプランの作成①	独自性、ベンチャー、知の高度化、バイタリティ、専門化、知の連鎖、工夫・改善・開発等の要素の意味の学習
2	これからやらなければならないこととビジネスプランの作成②	ビジネスプラン作成方法について
3	参考になる他の業界の動き、ベンチャービジネスから学ぶ①	国内外のベンチャービジネスの事例。オンリーワン志向となる病院では？ベンチマーク、複合技術等
4	参考になる他の業界の動き、ベンチャービジネスから学ぶ②	まとめ
5	特徴ある技術を持つには？①	多くの事例から特徴ある技術を学ぶ 自分の特許技術を持つにはどうするか
6	特徴ある技術を持つには？②	まとめ
7	特徴あるビジネスモデルを持つには①	マーケティング、CRM、アライアンス等で自己のビジネスモデルをどう作るか
8	特徴あるビジネスモデルを持つには②	他のビジネスモデルの事例から学ぶ ビジネスプランの提出
9	できる・できないあなたが変われば院も変わる	信頼される接遇のイロハ①
10	できる・できないあなたが変われば院も変わる	信頼される接遇のイロハ②
11	試験	試験
12	復習	

科目名 【英】	臨床医学総論② Clinical Medicine in General			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単 位	4
学 年	3 年生	学 期	通年	曜 日	1.3 学期：金曜 2 学期：木曜	時 限	1.2 学期：2 限 3 学期：1 限

担当教員	真田 浩二	実務者経験	2000 年 4 月～2002 年 3 月 鍼灸院に所属 往診および鍼灸院にて鍼灸施術をおこなう
------	-------	-------	---

学習内容	現代医学的な観点からの診察学〔検査法・主な症状の診察法など〕・治療学・臨床心理を学ぶ。 鍼灸師に必要な項目のみならず、幅広く現代医学的鑑別診断による病態把握を学ぶ。
到達目標	症候から現代医学的な観点で鑑別診断ができる。臨床の場において実際に活用できるレベル、 かつはり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達する。

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学の予習が必要。臨床医学各論との関連を復習する。
使用教材	配布プリント「臨床医学総論」
留 意 点 備 考	副教材として解剖学・生理学の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	各学期に約 5 回小テスト実施。期末試験 80%＋小テスト 20%で評価。再試験は試験 100%、小テストは含まない。
------	---

授業計画【内容・目標】		
1	診断学 32	全身状態の診察 15【皮膚・粘膜・皮下組織 4】
2	診断学 33	全身状態の診察 16【皮膚・粘膜・皮下組織 5】
3	診断学 34	全身状態の診察 17【皮膚・粘膜・皮下組織 6】
4	診断学 35	全身状態の診察 18【皮膚・粘膜・皮下組織 7】
5	診断学 36	局所状態の診察 1【頭頸部 1】
6	診断学 37	局所状態の診察 2【頭頸部 2】
7	診断学 38	局所状態の診察 3【胸部・腹部】
8	診断学 39	局所状態の診察 4【直腸・肛門・外性器・背部】
9	診断学 40	局所状態の診察 5【四肢】
10	診断学 41	そのほかの診察【関節可動域・救急時・女性・小児・高齢者】 臨床検査 1【概要・尿検査 1】
11	試験	
12	試験解答・解説	試験の解答および解説

授業計画【内容・目標】		
1	診断学 42	臨床検査 2【尿検査 2・糞便検査・血液検査】
2	診断学 43	臨床検査 3【血液生化学検査】
3	診断学 44	臨床検査 4【免疫学的検査】
4	診断学 44	臨床検査 4【自己抗体検査】
5	診断学 44	臨床検査 4【喀痰検査】
6	診断学 44	臨床検査 4【髄液検査】
7	診断学 44	臨床検査 4【関節液検査】
8	診断学 45	生命徴候の診察 1【体温】
9	診断学 46	生命徴候の診察 2【脈拍】
10	診断学 47	生命徴候の診察 3【血圧 1】
11	試験	試験
12	試験解答・解説	試験の解答および解説

授業計画【内容・目標】		
1	診断学 48	生命徴候の診察 4【血圧 2】
2	診断学 49	生命徴候の診察 5【呼吸】
3	診断学 50	身体計測・神経系の診察 1【感覚系の診察 1】
4	診断学 51	神経系の診察 2【感覚系の診察 2】
5	診断学 52	神経系の診察 3【反射の診察】
6	診断学 53	神経系の診察 4【脳神経系の診察 1】
7	診断学 54	神経系の診察 4【脳神経系の診察 2】
8	診断学 54	神経系の診察 4【髄膜刺激症状の診察 1】
9	診断学 55	神経系の診察 5【運動機能の診察 2】
10	診断学 56	神経系の診察 6【運動機能の診察 2】
11	診断学 57	神経系の診察 7【運動機能の診察 3】
12	治療学 臨床心理	治療学 臨床心理

科目名 【英】	臨床医学各論③ Clinical Medicine Part			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単位	3
学年	3年生	学期	1.2 学期	曜日	1 学期：水曜 2 学期：木曜	時限	1 学期:3 限 2 学期:1 限

1 学期 担当教員	山口 隆平	1 学期 実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成 16 年 4 月～平成 17 年 10 月）
2 学期 担当教員	後藤 卓	2 学期 実務者経験	2001 年 4 月～2003 年 3 月 鍼灸院に所属 鍼灸院にて鍼灸施術をおこなう

学習内容	臨床医学各論は各疾患の症状や検査などについて学ぶもので解剖学や生理学の基礎を基に各疾患について深く講義していく。
到達目標	現代医学的な観点からの臨床医学を学ぶ。各疾患の概念、疫学、病因、病態生理、症状、診断、治療などを理解し、臨床の場において実際に活用できるレベル、かつ国家試験に対応できるレベルまでを学ぶことを目標とする。

準備学習 時間外学習	1 年次、2 年次に学んだ解剖学・生理学の復習
使用教材	【教科書】臨床医学各論 【配布資料】あり
留意点 備考	なし

成績評価	各学期に 4 回小テストを実施。期末試験 70%＋小テスト 30%で評価する。
------	---

授業計画【内容・目標】		
1	代謝・栄養疾患①	糖代謝異常〔糖尿病〕・脂質代謝異常〔高脂血症〕
2	代謝・栄養疾患②	脂質代謝異常〔肥満症・るいそう〕
3	代謝・栄養疾患③	尿酸代謝異常〔高尿酸血症・痛風〕 その他の代謝異常症〔ビタミン欠乏症過剰症・骨軟化症・くる病〕
4	循環器疾患①	心臓疾患〔心不全・心臓弁膜疾患〕
5	循環器疾患②	心臓疾患〔不整脈・その他〕冠動脈疾患〔狭心症・心筋梗塞〕
6	循環器疾患③	動脈疾患〔動脈硬化症・大動脈瘤・大動脈解離〕
7	循環器疾患④	血圧異常〔高血圧症・低血圧症〕
8	消化管疾患①	口腔疾患〔歯周病・顎関節症・その他の口腔疾患〕 食道疾患〔食道癌・食道炎・食道潰瘍・その他の食道疾患〕
9	消化管疾患②	胃・十二指腸疾患〔胃炎・胃十二指腸潰瘍・胃癌・その他の胃・十二指腸疾患〕
10	消化管疾患③	腸疾患〔急性腸炎・潰瘍性大腸炎・クローン病・ 過敏性腸症候群・虫垂炎・大腸癌・腸閉塞〕
11	試験	試験
12	消化管疾患④	腸疾患〔その他の腸疾患〕 腹膜疾患〔急性腹膜炎・結核性腹膜炎・癌性腹膜炎〕

授業計画【内容・目標】		
1	その他の領域①	一般外科〔損傷概論・ショック・救急処置・心肺蘇生術〕
2	その他の領域②	麻酔科〔全身麻酔〕 麻酔科〔局所麻酔〕
3	その他の領域④	精神科疾患〔神経症・統合失調症・うつ病・アルコール依存症〕
4	その他の領域⑤	心療内科〔心身症・神経性食欲不振症・神経性過食症〕
5	まとめ	これまでの授業の内容のまとめ
6	国家試験対策	これまでの授業の内容を国家試験の出題傾向をもとに復習
7	国家試験対策	これまでの授業の内容を国家試験の出題傾向をもとに復習
8	国家試験対策	これまでの授業の内容を国家試験の出題傾向をもとに復習
9	国家試験対策	これまでの授業の内容を国家試験の出題傾向をもとに復習
10	国家試験対策	これまでの授業の内容を国家試験の出題傾向をもとに復習
11	国家試験対策	これまでの授業の内容を国家試験の出題傾向をもとに復習
12	国家試験対策	これまでの授業の内容を国家試験の出題傾向をもとに復習

科目名 【英】	リハビリテーション医学② Rehabilitation Medicine			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	96	単 位	6
学 年	3 年生	学 期	通 年	曜 日	水曜	時 限	1 学期：1.2 限 2.3 学期：1 限

担当教員	中山 伸治	実務者経験	1985 年～大学病院、リハビリテーション専門病院にて急性期から慢性期の理学療法をおこない、整形外科的疾患・スポーツ障害の理学療法を専門とする
------	-------	-------	---

学習内容	各疾患の障害の特徴を把握し、リハビリテーション評価法、運動療法や物理療法などの治療法を習得する。 リハビリテーション医学で学んだ疾患別リハビリテーションを実践するために、実技を通じて必要な評価法と治療法の知識と技術を学んでいく。
到達目標	正しい知識を有し、適切なリハビリテーションを施行できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】リハビリテーション医学 第 3 版 【配布資料】あり
留 意 点 備 考	

成績評価	本試験 100%
------	----------

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	脳卒中のリハビリテーション①	脳卒中の障害・合併症の評価
2	脳卒中のリハビリテーション②	脳卒中の急性期・回復期のリハビリテーションについて
3	脊髄損傷のリハビリテーション①	脊髄損傷の障害・合併症の評価
4	脊髄損傷のリハビリテーション②	脊髄損傷の急性期・回復期のリハビリテーションについて
5	切断のリハビリテーション	上肢・下肢切断後のリハビリテーションについて
6	小児のリハビリテーション①	脳性麻痺の定義と分類。 脳性麻痺による障害と随伴症状の評価
7	小児のリハビリテーション②	脳性麻痺のリスク管理とリハビリテーションについて
8	骨関節疾患のリハビリテーション①	五十肩の評価とリハビリテーションについて
9	骨関節疾患のリハビリテーション②	頸腕障害の評価とリハビリテーションについて
10	骨関節疾患のリハビリテーション③	腰痛の評価とリハビリテーションについて
11	試験	試験
12	試験の解説・解答	

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	障害の評価①	四肢周径の測定と関節可動域測定の実習
2	障害の評価②	徒手筋力テストの実習
3	体性機能不全	体性機能不全とは？体性機能不全の症状と評価について
4	姿勢について	良い姿勢とは？ 姿勢の静的・動的評価の実習
5	歩行について	歩行分析による異常歩行の分類と特徴について
6	ストレッチングの実習	ストレッチングの理論と正しいストレッチング指導のやり方を実習
7	関節機能不全に対するアプローチ	関節の凹凸の法則に基づいた基本的な関節アプローチ法の実習
8	筋膜に対するアプローチ（１）	マッスルエナジーテクニックの理論と実習（上肢）
9	筋膜に対するアプローチ（２）	マッスルエナジーテクニック（下肢）の実習
10	体幹トレーニング	コアコンディショニングとは？ トレーニング実習
11	試験	試験
12	試験の解説・解答	

2 学期 授業計画【内容・目標】		
1	骨関節疾患のリハビリテーション④	変形性膝関節症の評価とリハビリテーションについて
2	骨関節疾患のリハビリテーション⑤	変形性股関節症の評価とリハビリテーションについて
3	骨関節疾患のリハビリテーション⑥	大腿骨頸部骨折骨折の評価とリハビリテーションについて
4	骨関節疾患のリハビリテーション⑦	スポーツ障害の評価とリハビリテーションについて
5	骨関節疾患のリハビリテーション⑧	末梢神経麻痺の分類。障害の評価とリハビリテーションについて
6	骨関節疾患のリハビリテーション⑨	関節リウマチの評価とリハビリテーションについて
7	パーキンソン病のリハビリテーション	パーキンソン病とは？治療とリハビリテーションについて
8	呼吸・循環器のリハビリテーション①	呼吸器疾患の評価とリハビリテーションについて
9	呼吸・循環器のリハビリテーション②	心疾患の評価とリハビリテーションについて
10	高齢者のリハビリテーション	高齢者の特性とリハビリテーションについて
11	試験	試験
12	試験の解説・解答	

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	クライオセラピー①	クライオセラピー（寒冷療法）の理論について
2	クライセラピー②	急性期におけるクライオセラピーの有効性について
3	クライオセラピー③	クライオセラピー実習
4	温熱療法①	ホットパックの適応と治療方法について
5	温熱療法②	パラフィン浴の適応と治療法について
6	温熱療法③	極超短波（マイクロウェーブ）の適応と治療法について
7	水治療	部分浴と全身浴の適応と治療法について
8	光線療法	赤外線・紫外線・レーザー光線治療の適応について
9	電気治療	低周波治療の適応について
10	牽引療法	腰椎牽引・頸椎牽引の適応についれ
11	試験	試験
12	試験の解説・解答	リハビリテーション医学国司対策小テスト

科目名 【英】	東洋医学臨床論③ Clinical Oriental Medicine			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単位	1
学 年	3 年生	学 期	1 学期	曜 日	金曜	時 限	1 限

担当教員	松本 菜	実務者経験	2013 年 3 月～2014 年 9 月 鍼灸整骨院に所属 鍼灸治療を担当
------	------	-------	---

学習内容	症候・疾患に対して現代医学的・東洋医学的観点からの病態生理、治療方法、施術の適応判断を学ぶ。
到達目標	臨床において現代医学的・東洋医学的両方の観点から症候・疾患を分析し、治療方法を考える力を身につける。 国家試験合格に必要な知識を身につける。

準備学習 時間外学習	東洋医学的観点からの診断において、東洋医学概論の基礎知識の復習が必要となる。 現代医学的観点からの診断において、臨床医学各論、臨床医学総論の復習・関連付けが必要となる。
使用教材	教科書『東洋医学臨床論（はりきゅう編）』（東洋療法学校協会編） 配布資料・B5 ファイル
留意点 備 考	特になし

成績評価	小テストを実施、学期末試験 70%＋小テスト 30%で評価する。
------	----------------------------------

授業計画【内容・目標】		
1	スポーツ障害①	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
2	スポーツ障害②	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
3	スポーツ障害③	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
4	スポーツ障害④	【下肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
5	スポーツ障害⑤	【下肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
6	高齢者医療	現代医学的病態把握
7	高齢者医療	現代医学的病態把握
8	高齢者医療	現代医学的病態把握
9	診察の記録・評価法	施術記録（SOAP分類）・痛みの評価
10	診察の記録・評価法	各種領域の評価法（耳鼻科・消化器科・婦人科・泌尿生殖器科・精神科・高齢者）
11	試験	試験
12	試験解説	

科目名 【英】	関係法規 【Legal Issues in Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単 位	3
学 年	3 年生	学 期	1.2 学期	曜 日	1 学期：木曜 2 学期：金曜	時 限	2 限

担当教員	山口 隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成 16 年 4 月～平成 17 年 10 月）
------	-------	-------	--

学習内容	はり師・きゅう師の国家試験、開業に必要な法規を学ぶ。
到達目標	・ はり師・きゅう師国家試験問題に対応できるようになる。 ・ 開業時に必要な法律が理解できるようになる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】関係法規第 7 版
留 意 点 備 考	

成績評価	本試験 70% 平常点 30%
------	-----------------

授業計画【内容・目標】		
1	オリエンテーション	法規とは？ 評価方法説明
2	はり師・きゅう師に関する法律①	免許と試験
3	はり師・きゅう師に関する法律②	免許と試験
4	はり師・きゅう師に関する法律③	施術に関する注意 施術所に関する規則
5	はり師・きゅう師に関する法律④	名称制限・広告制限・罰金・罰則
6	法と実定法	法とは何か 法の種類
7	国試演習①	問題演習
8	国試演習②	問題演習
9	国試演習③	問題演習
10	国試演習③	問題演習
11	試験	試験
12	試験解説	

授業計画【内容・目標】		
1	医事法規と医療制度・医療法	病院・診療所・助産所について
2	国家試験願書下書き	願書練習
3	国家試験願書本番	願書本番
4	医療法	病院・診療所・助産所について
5	医師法 その他の医療従事者に関する法律 衛生関係法規	各医療従事者の法律 保健一般・予防衛生・環境衛生に関する法律
6	社会福祉関係法規 社会保険関係法規	福祉の7法 医療保障制度
7	国試演習①	問題演習
8	国試演習②	問題演習
9	国試演習③	問題演習
10	国試演習④	問題演習
11	試験	
12	試験解説	

科目名 【英】	はりきゅう実技⑩【臨床応用学Ⅰ】 Practice of Acupuncture and Moxibustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	144	単 位	4
学 年	3 年生	学 期	通 年	曜 日	火曜	時 限	1.2 限

担当教員	山本 勝行	実務者経験	1981 年～ 山本鍼灸整骨院開院
------	-------	-------	-------------------

学習内容	各疾患での適応・不適応の鑑別に重要な各種検査法や効果的な治療点を把握する。
到達目標	習得した基本施術を応用して、臨床実習に活用できる技量を身につける。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】鍼灸臨床マニュアル・滋慶共通実技標準テキスト 【鍼】アサヒ寸 6-2 番銀鍼
留 意 点 備 考	

成績評価	本試験 70% 平常点 15% 出席点 15%
------	-------------------------

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	1・2 年次の復習①	・手の要穴の取穴 ・取穴への刺鍼練習及び刺入寸度の確認
2	鍼灸実技実習①	・鍼灸実技の注意点 ・医療過誤とその対処法について
3	鍼灸実技実習②	・背部の取穴と刺鍼 ・腹部の取穴と刺鍼
4	鍼灸実技実習③	・灸練習（米粒大、半米粒大）紙上灸・八分灸（人体）
5	運動器系疾患①	・運動器系疾患の治療法について 関節系疾患：股関節・膝関節・足関節ほか
6	運動器系疾患②	・五十肩・腱板炎・野球肘ほか
7	運動器系疾患③	・骨膜、筋および腱疾患について （腱鞘炎、肉離れ、寝違いほか）
8	運動器系疾患④	・その他の症候群について （急性腰痛、慢性腰痛、椎間板ヘルニアほか）
9	運動器系疾患⑤	・頸肩腕症候群について （肩こり、胸郭出口症候群ほか）
10	試験	試験
11	試験	試験
12	まとめ	

2 学期 授業計画【内容・目標】		
1	神経系疾患①	・ 神経系疾患の治療法について (三叉神経痛、後頭神経痛、肋間神経痛ほか)
2	神経系疾患②	・ 神経系疾患の治療法について (坐骨神経痛ほか)
3	神経系疾患③	・ その他の神経系疾患について (顔面神経麻痺ほか)
4	特殊治療①	・ 灸頭鍼による治療
5	消化器系疾患①	・ 消化器系疾患の治療法について (口内炎、歯痛、食道疾患ほか)
6	消化器系疾患②	消化器系疾患 胃疾患各種 (胃潰瘍、胃酸過多、胃アトニーほか)
7	消化器系疾患③	消化器系疾患 腸疾患各種 (急性・慢性腸炎、十二指腸潰瘍ほか)
8	消化器系疾患④	その他の消化器系疾患 (肝臓疾患、胆のう疾患、膵臓疾患ほか)
9	特殊治療②	吸角療法について 吸角療法の仕方
10	試験	試験
11	試験	試験
12	まとめ	

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	呼吸器系疾患①	呼吸器系疾患の治療法 かぜ症候群、気管支炎ほか
2	呼吸器系疾患②	呼吸器系疾患 肺炎、咳、痰、鼻汁、鼻閉ほか
3	循環器系疾患①	循環器系の治療法について 心疾患、血管疾患ほか
4	泌尿器系疾患①	泌尿器系疾患の治療法について 腎炎、ネフローゼ、膀胱炎
5	生殖器系疾患①	生殖器系疾患の治療法について 陰萎症、前立腺炎ほか
6	婦人科系疾患①	婦人科系疾患の治療法について 月経異常、子宮筋腫、つわりほか
7	婦人科系疾患②	その他の疾患の治療法について 更年期障害、神経症ほか
8	特殊治療③	隔物灸 みそ灸、にんにく灸、生姜灸ほか
9	特殊治療④	小児鍼、耳鍼、手指鍼ほか
10	試験	試験
11	試験	試験
12	まとめ	

科目名 【英】	はりきゅう実技⑪ 【中医診断治療学Ⅱ】 Practice of Acupuncture and Moxibustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単 位	2
学 年	3 年生	学 期	通 年	曜 日	月曜	時 限	2 限目

担当教員	副田 恵子	実務者経験	1999 年 4 月～鍼灸院を開院 鍼灸院及び往診にて鍼灸施術をおこなう
------	-------	-------	---

学習内容	実際の臨床で使う経絡経穴を使用し、手技の応用や体表観察の技術を疾患ごとに身につける。
到達目標	1、2 年生で習得した手技を発展させ、臨床に生きる治療技術の習得を目標とする。

準備学習 時間外学習	各疾患の東洋医学的理解の復習
使用教材	鍼灸道具 配布プリント
留意点 備 考	副教材として経絡経穴概論の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	毎授業に小テストを実施。期末試験 70%＋小テスト 30%で評価する。
------	-------------------------------------

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	2 年時の復習	2 年時で学んだ手技の理解と確認。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
2	肩こり①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
3	肩こり②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
4	腰痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
5	腰痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
6	膝痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
7	膝痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
8	脱毛症①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
9	脱毛症②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
10	試験	試験
11	試験	試験
12		

2 学期 授業計画【内容・目標】		
1	顔面痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
2	顔面痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
3	歯痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
4	歯痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
5	腰下肢痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
6	腰下肢痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
7	膝痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
8	膝痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
9	肩こり・頸肩腕痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
10	試験	試験
11	試験	試験
12		

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	肩こり・頸肩腕痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
2	月経異常①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
3	月経異常②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
4	食欲不振・肥満①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
5	食欲不振・肥満②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
6	不眠・疲労倦怠①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
7	不眠・疲労倦怠②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
8	後期の復習①	後期に学んだ事の復習 実技テスト練習
9	後期の復習②	後期に学んだ事の復習 実技テスト練習
10	試験	試験
11	試験	試験
12		

科目名 【英】	はりきゅう実技⑪【臨床応用学Ⅲ】 Practice of Acupuncture and Moxbustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	48	単 位	1
学 年	3 年生	学 期	2.3 学期	曜 日	2 学期：月曜 3 学期：木曜	時 限	3 限

担当教員	田邊 健三	実務者経験	臨床経験 30 年以上 講師歴 20 年以上
担当教員	篠塚 知恵子	実務者経験	2015 年 7 月～2016 年 3 月 鍼灸院に所属 鍼灸院にて鍼灸施術をおこなう

学習内容	疾患の鑑別や治療法の習熟と技量の向上を図る。
到達目標	臨床の現場を想定した実技の習得を目標とする。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】鍼灸臨床マニュアル
留 意 点 備 考	

成績評価	本試験 100%
------	----------

2 学期 授業計画【内容・目標】		
1	1.2 年の復習	・ 前頸部への刺鍼について ・ 前頸部・前胸部の経穴への刺鍼方法
2	歯痛の治療	・ 概要について ・ 遠隔および局所治療の方法
3	肩こりの治療	・ 訴えの部位と経絡について ・ 局所治療の方法
4	顔面神経麻痺の治療	・ 中枢性と末梢性の鑑別と治療法
5	更年期障害の治療	・ 概要について ・ 刺鍼と施灸の方法
6	肋間神経痛の治療	・ 概要について ・ 刺鍼および皮内鍼と施灸の方法
7	排便障害の治療	・ 便秘症について ・ 刺鍼と施灸の方法
8	冷え症の治療	・ 刺鍼と施灸部位について
9	月経不順の治療	・ 概要について ・ 刺鍼と施灸の方法
10	試験	試験
11	試験	試験
12	メニエール症候群	・ 症候診断および治療法と実技指導

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	美容鍼灸理論	顔面部の解剖【肌理論】について説明できる。
2	美容鍼灸理論	美容医療の現状について説明できる。
3	美容鍼灸理論	肌トラブルについての言葉を列挙できる。 肌トラブルについて説明できる。
4	美容鍼灸理論	美容鍼灸の効果・効能について説明できる。 美容鍼灸で対称となる表情筋群の名称を列挙できる。
5	美容鍼灸実技	クライアントへのカウンセリングを実践できる。
6	美容鍼灸実技	顔面部への施術部位の確認ができる。 顔面部への施術を実践できる。
7	美容鍼灸実技	カウンセリングの情報をもとに施術内容の立案・実施ができる。
8	美容鍼灸実技	カウンセリングの情報をもとに施術内容の立案・実施ができる。
9	試験前復習	3 学期に学んだ内容を説明できる。 3 学期で学んだ内容を実践できる。
10	試験	試験
11	試験	試験
12	美容鍼灸実践	クライアントへのカウンセリングの実施し要望を聴取できる。 要望より施術内容の立案・実践ができる。

科目名 【英】	臨床実習② 【Clinical Education】			必修/選択	必修	授業形式	臨床実習
				総時間数	136	単 位	3
学 年	3 年生	学 期	通 年	曜 日	金 曜	時 限	3.4 限

担当教員	丸茂 美保子	実務者経験	1992 年～2004 年 鍼灸院、整形外科に所属 2004 年～2014 年 教員養成・専門学校専任教員 2014 年開業
担当教員	村上 朱保	実務者経験	臨床検査技師、はり師きゅう師の国家資格、進級教員免許を保有 臨床検査技師として病院にて 10 年 9 か月 鍼灸師として 7 年間の臨床経験あり 中国の大学病院において中医師インターンとして 5 年間の実務経験あり 2015 年～鍼灸専門学校にて講義・実習を担当

学習内容	学内臨床施設にて学生や学外の患者への対応を実習担当教員の監視の下、実習をおこなう。
到達目標	臨床現場にて、医療面接から得た情報をもとに治療への方針を計画し、実施できる。

準備学習 時間外学習	3 年次までに学んだ事柄をまとめておく。
使用教材	鍼灸施術用具
留意点 備 考	・基本的には 100%出席にて評価対象となる。 ・担当教員の指導に従う。

成績評価	出席評価+レポート評価【100%】
------	-------------------

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	オリエンテーション	臨床実習についてのオリエンテーション カルテ記載の方法など
2	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
3	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
4	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
5	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
6	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
7	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
8	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
9	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
10	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
11	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
12	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習

2 学期 授業計画【内容・目標】		
1	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
2	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
3	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
4	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
5	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
6	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
7	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
8	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
9	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
10	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
11	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
12	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
2	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
3	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
4	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
5	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
6	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
7	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
8	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
9	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
10	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
11	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
12	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習

科目名 【英】	総合領域① 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単 位	4
学 年	3 年生	学 期	通 年	曜 日	1 学期：木曜 2 学期：月曜 3 学期：金曜	時 限	1 学期：1 限 2 学期：1 限 3 学期：2 限

1 学期 担当教員	篠塚 知恵子	1 学期 実務者経験	2015 年 7 月～2016 年 3 月 鍼灸院に所属 鍼灸院にて鍼灸施術をおこなう				
2.3 学期 担当教員	山口 隆平	2.3 学期 実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成 16 年 4 月～平成 17 年 10 月）				

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。						
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。						

準備学習 時間外学習	1.2 年生で学習した内容を復習しておく。						
使用教材	配布資料あり						
留 意 点 備 考							

成績評価	1.3 学期：平常点【小テスト】にて評価【100%】 2 学期：定期試験+小テストにて評価						
------	---	--	--	--	--	--	--

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	衛生学・公衆衛生学 ①	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
2	衛生学・公衆衛生学 ②	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
3	衛生学・公衆衛生学 ③	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
4	衛生学・公衆衛生学 ④	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
5	衛生学・公衆衛生学 ⑤	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
6	衛生学・公衆衛生学 ⑥	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
7	病理学①	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
8	病理学②	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
9	病理学③	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
10	病理学④	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
11	病理学⑤	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
12	病理学⑥	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。

2 学期 授業計画【内容・目標】		
1	肝臓・胆のう・膵臓	解剖・生理について説明できる。
2	肝臓・胆のう・膵臓	疾患について想起できる。
3	腎臓・泌尿器	解剖・生理について説明できる。
4	腎臓・泌尿器	解剖・生理について説明できる。
5	腎臓・泌尿器	疾患について想起できる。
6	消化器	解剖・生理について説明できる。
7	消化器	解剖・生理について説明できる。
8	消化器	疾患について想起できる。
9	膠原病	典型 6 疾患を列挙できる。
10	膠原病	疾患について想起できる。
11	生殖器	男性生殖器について説明できる。
12	生殖器	女性生殖器について説明できる。

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	婦人科疾患	子宮頸癌～子宮内膜症について説明できる。
2	眼科疾患	解剖の言葉を列挙できる。 疾患について想起できる。
3	内分泌	解剖・生理について説明できる。
4	内分泌	生理について説明できる。
5	内分泌	疾患について想起できる。
6	呼吸器疾患	閉塞性呼吸器疾患について説明できる。
7	呼吸器疾患	拘束性呼吸器疾患について説明できる。
8	病理学	総まとめ
9	病理学	総まとめ
10	病理学	総まとめ
11	血液疾患	貧血
12	血液疾患	白血病・紫斑病・血友病

科目名 【英】	総合領域② 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単位	4
学年	3年生	学期	通年	曜日	1学期：月曜 2.3学期：木曜	時限	1限

担当教員	高木 健之	実務者経験	専門学校臨床施設にて2年間施術を担当し、実務経験を得る
担当教員	松本 栞	実務者経験	2013年3月～2014年9月 鍼灸整骨院に所属 鍼灸治療を担当

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備考	

成績評価	1学期：本試【70%】+小テスト【30%】 2.3学期：平常点【小テスト】にて評価【100%】
------	---

1学期 授業計画【内容・目標】		
1	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
2	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
3	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
4	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
5	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
6	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
7	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
8	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
9	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
10	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
11	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
12	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。

2 学期 授業計画【内容・目標】		
1	国家試験対策①	衛生学・公衆衛生学の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	解剖学の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	解剖学の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	解剖学の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	生理学の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	生理学の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	病理学の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	臨床医学総論の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	臨床医学総論の言葉を列挙できる
10	国家試験対策⑩	臨床医学各論の言葉を列挙できる
11	国家試験対策⑪	臨床医学各論の言葉を列挙できる
12	国家試験対策⑫	臨床医学各論の言葉を列挙できる

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	国家試験対策①	東洋医学概論の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	東洋医学概論の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	東洋医学概論の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	東洋医学概論の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	東洋医学概論の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	東洋医学概論の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
10	国家試験対策⑩	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
11	国家試験対策⑪	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
12	国家試験対策⑫	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる

科目名 【英】	総合領域③ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単 位	1
学 年	3 年生	学 期	3 学期	曜 日	水曜	時 限	2 限

担当教員	後藤 卓	実務者経験	2001 年 4 月～2003 年 3 月 鍼灸院に所属 鍼灸院にて鍼灸施術をおこなう				
------	------	-------	--	--	--	--	--

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。						
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。						

準備学習 時間外学習	1.2 年生で学習した内容を復習しておく。						
使用教材	配布資料あり						
留 意 点 備 考							

成績評価	平常点【小テスト】にて評価【100%】						
------	---------------------	--	--	--	--	--	--

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	消化器系の解剖生理学	口腔・咽頭・食道・胃・小腸・大腸の解剖生理学について説明できる。
2	消化器系の解剖生理学	肝臓・胆嚢・膵臓の解剖生理学について説明できる。
3	消化器系疾患 1	口腔疾患・食道疾患、胃・十二指腸疾患について説明できる。
4	消化器系疾患 2	腸疾患、肝臓疾患・胆道疾患・膵臓疾患について説明できる。
5	麻酔科 1	全身麻酔の種類と方法・特徴について説明できる。
6	麻酔科 2	脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔・表面麻酔・浸潤麻酔について説明できる。
7	麻酔科 3	伝達麻酔（神経ブロック）について説明できる。
8	一般外科	熱傷・凍傷と凍瘡・ショック、救急処置・心肺蘇生術について説明できる。
9	はりきゅう理論	毫鍼の各部の名称・鍼の太さと長さの基準・鍼先の形状と特徴・ 鍼の材質と特徴・鍼管の材質と特徴・古代九鍼について説明できる。
10	はりきゅう理論	刺鍼の方式・刺鍼の術式・刺鍼中の手技・特殊鍼法・灸法の種類について説明できる。
11	はりきゅう理論	鍼灸の治効理論について説明できる。
12	はりきゅう理論	鍼灸の治効理論・関連学説について説明できる。

科目名 【英】	総合領域④ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単位	1
学 年	3 年生	学 期	3 学期	曜 日	木曜	時 限	1 限

担当教員	藤原 法香	実務者経験	2017 年 4 月～2018 年 10 月 鍼灸整骨院に所属 鍼灸整骨院にて鍼灸施術をおこなう。
------	-------	-------	--

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2 年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留 意 点 備 考	

成績評価	平常点【小テスト】にて評価【100%】
------	---------------------

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	生理学	生理学の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
2	生理学	生理学の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
3	生理学	生理学の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
4	生理学	生理学の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
5	生理学	生理学の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
6	生理学	生理学の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
7	臨床医学各論	臨床医学各論の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
8	臨床医学各論	臨床医学各論の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
9	臨床医学各論	臨床医学各論の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
10	臨床医学各論	臨床医学各論の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
11	臨床医学各論	臨床医学各論の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
12	臨床医学各論	臨床医学各論の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。

科目名 【英】	総合領域⑤ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単位	1
学年	3年生	学期	3学期	曜日	月曜	時限	3限

担当教員	藤田 和樹	実務者経験	2012年～2015年 整骨院勤務 治療補助など担当 2009年～高校ラグビー部トレーナー帯同 AT業務全般担当
------	-------	-------	---

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備考	

成績評価	平常点【小テスト】にて評価【100%】
------	---------------------

3学期 授業計画【内容・目標】		
1	解剖学	筋骨格系の解剖の言葉を列挙できる。
2	解剖学	筋骨格系の解剖の言葉を列挙できる。
3	解剖学	筋骨格系の解剖の言葉を列挙できる。
4	解剖学	筋骨格系の解剖の言葉を列挙できる。
5	解剖学	筋骨格系の解剖の言葉を列挙できる。
6	臨床医学各論	整形外科分野の疾患を想起できる。 整形外科分野の疾患について説明できる。
7	臨床医学各論	整形外科分野の疾患を想起できる。 整形外科分野の疾患について説明できる。
8	臨床医学各論	整形外科分野の疾患を想起できる。 整形外科分野の疾患について説明できる。
9	臨床医学各論	整形外科分野の疾患を想起できる。 整形外科分野の疾患について説明できる。
10	臨床医学各論	整形外科分野の疾患を想起できる。 整形外科分野の疾患について説明できる。
11	リハビリテーション 医学	国家試験に出題される範囲のリハビリテーション医学の言葉を列挙できる。
12	リハビリテーション 医学	国家試験に出題される範囲のリハビリテーション医学の言葉を列挙できる。

科目名 【英】	総合領域⑥ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単位	1
学 年	3 年生	学 期	3 学期	曜 日	月曜	時 限	1 限

担当教員	山口 隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）
------	-------	-------	--------------------------------

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留 意 点 備 考	

成績評価	小テストにて評価【100%】
------	----------------

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	経絡経穴概論 東洋医学概論	督脈の取穴部位を説明できる。 気・血・津液の復習
2	経絡経穴概論 東洋医学概論	任脈の取穴部位を説明できる。 五臓の復習
3	経絡経穴概論 東洋医学概論	肺経・大腸経の取穴部位を説明できる。 六腑の復習
4	経絡経穴概論 東洋医学概論	胃経の取穴部位を説明できる。 奇恒の腑の復習
5	経絡経穴概論 東洋医学概論	脾経・心経の取穴部位を説明できる。 病因（外因・内因・不内外因）の復習
6	経絡経穴概論 東洋医学概論	小腸経の取穴部位を説明できる。 八綱病証と気血津液病証
7	経絡経穴概論 東洋医学概論	膀胱経の取穴部位（睛明～会陽）を説明できる。
8	経絡経穴概論 東洋医学概論	膀胱経の取穴部位（承扶～至陰）を説明できる。
9	経絡経穴概論 東洋医学概論	腎経の取穴部位を説明できる。 経絡病証と六経病証
10	経絡経穴概論 東洋医学概論	心包経・三焦経の取穴部位を説明できる。 四診（望診）
11	経絡経穴概論 東洋医学概論	胆経の取穴部位を説明できる。 四診（聞診・問診）
12	経絡経穴概論 東洋医学概論	肝経の取穴部位 奇経八脈を説明できる。 四診（切診）